



# こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党八千代市議団メール：[kyousan@jcp-yachiyo.jp](mailto:kyousan@jcp-yachiyo.jp)

日本共産党  
八千代市議団  
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>



第649号

2024年9月23日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

## 2023年度決算審査特別委員会

### 日本共産党は決算審査特別委員会で不認定に

2023年度(令和5年度)決算審査特別委員会が、9月11日から4日間開かれました。市民から集めた税金がどのように使われたのか、無駄な事業が行われていないか、暮らしや生業を守るために使われたのかをチェックするのが決算委員会です。

歳入は708億6千万円(前年度比約29億円減)。歳出は約674億1千万円で(前年度比約31億3千万円減)でした。歳入歳出差引額は約34億5千万円となり、そこから翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた、実質収支は約25億7千万円です。

日本共産党は23年度当初予算の段階で、約8億円の予算を使ってできる組替え動議を提出、その予算組替え案では小中学校体育館の空調設備整備、教員の未配置解消、給食費の無償化、高齢者の補聴器の補助などを盛り込んでいましたが、実現されませんでした。

### 保険料の引き下げ

国民健康保険の滞納世帯は12%、中でも年収200万円以下は2659世帯もあります。国民健康保険の加入世帯は制度の性質上(どの保険にも加入していない)最後のセーフティネットの役割があるため、無職や高齢者が多くなっています。加入者に負担させる均等割は、赤ちゃんや子どもにまで及びます。国や県は未就学児の均等割には軽減策を設けていますが、日本共産党は18歳以下の均等割はやめさせるべきと求めています。

介護保険料や後期高齢者医療保険料も高齢者の負担が重くなっています。そのため、「保険料を払っても医者に行くお金や介護を利用するためのお金が残らない」との声も多く、介護は利用したくても利用できない方々が増えています。剰余金や不用額が出ているのもそのためです。

国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療保険などの保険料は引き下げて、本来の目的である医療、介護の充実をはかるべきです。「安心して医療、介護が受けられる八千代市」となるよう保険料引き下げを強く求めました。



### 命に係わる上下水道事業

能登半島地震では水道の復旧が遅れています。8か月たっても水道がだめ、トイレもダメという地域が多く存在しています。上下水道事業は命と暮らしにとって重要です。日ごろから十分な耐震化とメンテナンスが必要な分野です。

八千代市では1号幹線の事業が終わり、調整池の整備などで時間当たり50mm降雨に対応でき支障はないと上下水道局は答えています。さらに、上下水道料金の徴収では、未払いの家庭に対し、2807件は給水を止めたという報告がありました。そのうち2409件は支払いが完了したとのことですが市内には住んでいないようです。しかし、私たちが生活していく上で最も大切な水道を簡単に止めてしまって良いのでしょうか？

日本共産党は、他市で実施しているような生活困窮世帯に寄り添った対応を八千代市でも求めて行きます。